



まめなプロジェクト活動記録マガジン

# MAMENA

## MAGAZINE

Vol. 01  
2019/02

はじめまして！  
まめなプロジェクトです。

柑橘が潮風になびく町、  
久比を選んだ理由。

久比ならでは！  
未来のライフスタイル  
拠点をつくる。

**P02** はじめまして！  
まめなプロジェクトです。  
代表者紹介！

祝！  
創刊号



**P03** 柑橘が潮風になびく町、  
久比を選んだ理由。



**P04** 久比ならでは！  
未来のライフスタイル拠点をつくる。

PROJECT 01 相互扶助コミュニティの創出

**P05** PROJECT 02 主体的に学ぶ環境づくり  
PROJECT 03 エルダートックの実証実験

**P06** PROJECT 04 持続可能な農業の実践  
PROJECT 05 人口の流動性を高める

**P07** 現在までの、まめなの活動

# 「暮らしを、自分たちの手に取り戻す」

# #1

はじめまして！

## まめなプロジェクトです。

人生100年時代。美しく、楽しく人生を謳歌するには、生涯現役を貫き、いつまでも「まめに（元気に）」生き活きと安心して生活することが大切。

### 現

代の日本は、様々なモノ・コト・情報に溢れています。それに比例するかのようには人々のコミュニケーションは気薄となり、日々を彩る営みは他に託され、生産者の顔が見えないものを消費するようになりました。

まめなプロジェクトは、広島県呉市に位置する久比（くび）を拠点とする一般社団法人です。「くらしを、自分たちの手に取り戻す」をミッションに、多角的な取り組みに挑戦していきます。まめなマガジンでは、そんな私たちの状況を不定期でお伝えしていきます！私たちの想いに共感していただけの方は、ぜひ久比にお越しください。

### 代表者紹介！



梶岡秀

2016年暮れ、ナオライ株式会社代表三宅紘一郎さんが来訪され、三角島檸檬ガーデンのオーガニック化への支援依頼があり、手伝うことになりました。同時に空き家活用の相談を受け、情報を提供。その古民家で2018年3月、更科さんと出会い、久比でのプロジェクトへの強い思いを知りました。地元民として、また久比盛り上げ隊主宰者として、願ったり叶ったりで、喜んで協力を申し出ました！

かじおか ひでし/1947年久比で生まれ、豊中学卒業後広島市内に進学。1972年より広島県立西部工業技術センターで36年間試験研究に従事、退職後4年間、科学技術振興機構の地方機関で研究開発支援に携わる。2012年帰郷し、耕作放棄地の再生や引き継いだ柑橘園でのオーガニック栽培に取り組む。一方、超高齢化の久比の現状を何とかできないかとの思いから、2016年、島外の方との繋がりを求めて島情報を発信するフェイスブック久比盛り上げ隊を立ち上げる。趣味はボランティア、サイクリング、音楽鑑賞。



“現代に生きる私たちが忘れかけていたものが、ここにはあった”



## #2

### 柑橘が潮風になびく町、 久比を選んだ理由。

**人** 口約500人、大崎下島・久比は、昔から主要産業として盛んな柑橘類が色とりどりに実る段々畑と、波の穏やかな瀬戸内海に囲まれた小さな集落です。海の幸にも恵まれた

久比は、季節によってさまざまな魚介類を味わい、楽しむこともできます。



ゆるやかなコミュニティが存続するこの地で、人々は目が合えば挨拶を交わし合い、育んだ作物や釣ったお魚を当たり前のように分かち合います。物がなければ自ら生み出し、壊れれば自ら直す。毎日汗を流して畑作業をし、そして1日の終わりに一言。「ふう、今日もよく働いた!」モノ・コト・情報に溢れた現代に生きる私たちが目指すべき豊かさは「暮らしが自らの手の中にあること」ではないでしょうか。その実践の場として久比は、ぴったりの拠点だと思ふのです。

美しい自然とその自然からなる作物に恵まれた久比。よそ者を温かく迎えてくれる人々。私たち人間が本質的に豊かに在り続けることのできる土壌が、そこにはありました。



Five things we do  
まめながつくる  
5つのこと

## #3

久比ならではの！  
未来のライフスタイル拠点をつくる。

介護・テクノロジー・教育・農業・多拠点生活・・・  
久比に様々な分野における変革の種を撒いていきます！

### PROJECT 01

#### 相互扶助コミュニティ 創出

年を重ねても、好奇心に満ち溢れ人生を謳歌することで、最後はピンシャンコロリで旅立つことができるお年寄りが増えるのではないか！

すなわち、私たちは「介護がいらぬ社会」は実現できると考えます。

そのためには、福祉・施設・病院などの枠組みを超え、一人ひとりの個性を尊重し支え合う相互扶助のコミュニティが必要です。

普段の暮らしを通じて、皆さんがどうすれば最期まで生を楽しみ全うすることができるのか、あらゆる角度から探求します。

#### 実施予定コンテンツ

- ・ 日常的に心と身体の健康を見守り支援する介護士の配置
- ・ 住民に向けた、いつでも立ち寄れる場の提供
- ・ 高齢者シェアハウスの運営
- ・ 介護士育成／継続化に向けた仕組みづくり など



自らの研究や学びが自由にできる拠点のほか、次ページに記載のデュアル生活拠点となる住居や宿泊施設、クリエイターのためのアトリエ・制作拠点などマルチな場としてリノベーションを構想中の崎原邸。

PROJECT 02

主体的に学ぶ  
環境づくり

” 「任せる」のではなく「考える」きっかけを、  
「教わる」のではなく「学ぶ」場を。

実施予定コンテンツ

- ・ 自らの研究や学びが自由にできる拠点づくり及びサポート
- ・ 子ども目線の遊び(=学び)の場の提供／運営 など

医療・教育・法律・行政、他にも私たちの生活に密着するあらゆるものが専門家の手の中に留まっています。しかし市民一人ひとりが正しい知識やリテラシーを身に付け、生活を自らの意思で選択しコントロールすることで、より主体的で豊かな人生を送ることができるようになります。



エルダーテック開発および実証実験ができるラボにするため、リノベーションを構想中の北村工場。とびしま海道に面しているので、その立地を活かした使い方も考えたいところ。

PROJECT 03

エルダーテック<sup>\*1</sup>  
の実証実験

” 地域とそこに住む人々の実情に寄り添ったテクノロジーを。

実施予定コンテンツ

- ・ 高齢者生活支援のための技術開発
- ・ 過疎／遠隔地の医療受診のための技術開発

県内でも極めて高齢化率が高く、また遠隔地に位置する久比にエルダーテクノロジーの開発拠点を置くことには、非常に大きな意義があると考えます。  
調査・実証実験を繰り返すことで開発の精度向上と期間短縮が見込める現場において、あらゆる企業を巻き込みながら開発していきます。

\*1) エルダーテック: エルダー(高齢者)向けのテクノロジー

”  
大量生産・大量消費のモデルを  
サステイナブルにリデザイン。

## PROJECT 04

### 持続可能な 農業の実践

久比では住民の大半が自ら畑を所有し、毎日土を耕しています。中でも明治時代より栄えた柑橘栽培を中心に、農薬や化学肥料を使用しない農法を実践していきます。



(左) 久比の町に広がるオーガニックレモン畑。久比特有の気候が手伝ってとても美味しいレモンやみかんが育つ。(右) この企画に地域のパイプ役として関わって下さっているナオライ株式会社の三宅紘一郎さん<写真左上>。ハチドリ舎にて。

### 実施予定コンテンツ

- ・ 柑橘類における有機栽培農法の普及
- ・ 土中細菌や協生農法などの研究／実践
- ・ 来島者による栽培体験の場づくり
- ・ 収穫物の加工／販売などを通じた地域ブランド開発
- ・ 未来農業のための技術開発

### 実施予定コンテンツ

- ・ 若者を対象とした体験学習プログラムの実施
- ・ 外来者向けコワーキングならびに宿泊施設の運営
- ・ クリエイターの制作拠点の提供
- ・ 二拠点生活の住居提供 など

## PROJECT 05

### 人口の流動性を 高める

”  
これからの時代。求められるのは、  
本当に価値あることをそれに適切な場所で生み出すこと。

毎 日過酷な通勤ラッシュに揺られ、会社ではPCとらめっこをし、夜遅くまで働く。

こんな生活、本当に良いのだろうか？そんな疑問を感じる都市生活者も少なくないのではないだろうか。インターネットが発達した現在、職種によってはネット環境さえあればどこでも仕事ができるようになりました。都市部で生まれたさまざまな問題や不均衡も、それを考えればかなりのことが解決できます。

ぜひ久比に、  
足を運んでみませんか！？





# #4 現在までの、まめなの活動



\* 地域協力隊として久比の隣の地区、御手洗で活動されており、現在同地にカフェをオープン